

『リハビリテーション医学・医療コアテキスト準拠 リハビリテーション医学・医療Q&A』 正誤表

このたびは『リハビリテーション医学・医療コアテキスト準拠 リハビリテーション医学・医療Q&A』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。第1刷（2019年1月1日発行）、第2刷（2021年8月1日発行）におきまして以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2019年1月8日作成 2022年11月4日更新

| 刷数 | 訂正箇所 | 誤 | 正 |
|------|----------------------|--|--|
| 1, 2 | 58頁・問題55 解説 最後の行 | ・肘伸展位・肩屈曲位90°での回内外可能となるのはBrunnstrom Stage Vでは不可能であり、すべての分離運動が可能となる必要があるため、Brunnstrom Stage VIである。 | ・肘伸展位・肩屈曲位90°での回内外可能となるのはBrunnstrom Stage Vである。 |
| 1 | 78頁・問題73 選択肢④ | 側脳室正中室におけるcella media indexが低下している。 | 側脳室体部におけるcella media indexが低下している。 |
| 1 | 78頁・問題73 選択肢⑤ | シャント圧を調整する。 | シャント圧の調整を検討する。 |
| 1 | 78頁・問題73 解説 1行目 | ・頭部CT画像から読み取れるのは硬膜下腔の拡大、側脳室の拡大である。 | ・本症例の頭部CT画像から読み取れるのは、シャント後の硬膜下腔の拡大、側脳室拡大の改善である。 |
| 1 | 78頁・問題73 解説 8行目 | ・正常圧水頭症の頭部CT画像やMR画像では脳室の拡大がみられ、Evans index（両側側脳室前角間最大幅/その部位における頭蓋内腔幅）は0.3以上、cella media index（両側側脳室体部最小幅/その部位における頭蓋内腔幅）は0.25以上を超える（図）。 | ・正常圧水頭症の頭部CT画像やMR画像では脳室の拡大がみられ、Evans index（両側側脳室前角間最大幅/その部位における頭蓋内腔幅）は0.3以上、cella media index（その部位における頭蓋骨外側の最大幅/両側側脳室体部最小幅）は4以下となる（図） ¹⁾ 。Cella media indexをこの逆数で示す文献等もあり、特発性正常圧水頭症診療ガイドラインの第2版では記載されていない ²⁾ |
| 1 | 79頁・問題73 図 | 正常水頭症における脳室拡大の指標 | 正常圧水頭症における脳室拡大の指標 |
| 1 | 79頁・問題73 図 | Cella media index: C/D | cella media index: D/C |
| 1 | 79頁・問題73 解説 1行目 | ・脳室内穿破を伴う…必要である。 | ・脳室内穿破を伴う…必要である。本症例では硬膜下腔の拡大が強く、シャント圧を上げることを検討する。 |
| 1 | 79頁・問題73 文献の追加 | 1) 日本正常圧水頭症学会特発性正常圧水頭症診療ガイドライン… | 1) Gyldensted C: Measurements of the normal ventricular system and hemispheric sulci of 100 adults with computed tomography. <i>Neuroradiology</i> 14: 183-192, 1977 2) 日本正常圧水頭症学会特発性正常圧水頭症診療ガイドライン… |
| 1, 2 | 180頁・問題165 解説 上から4行目 | 同様に、実測された1秒量(FEV _{1.0})の標準値に対する割合を%FEV _{1.0} （対標準1秒量）といい、70%以下の場合には閉塞性換気障害と診断される。%VCと%FEV _{1.0} がともに上記より低値である場合は、混合性換気障害となる。 | また、最大吸気位から1秒間に努力呼出した気量を1秒量(FEV _{1.0})といい、最後まで努力性に呼出しきった気量である努力肺活量(FVC)に対する割合を1秒率(FEV _{1.0} /FVC=FEV _{1.0} %)という。70%以下の場合には閉塞性換気障害と診断される。%VCとFEV _{1.0} %がともに上記より低値である場合は、混合性換気障害となる。 |
| 1, 2 | 196頁・問題180 解説 下から2行目 | (2) BMI < 20kg/m ² 未満 (<70歳) または 20kg/m ² 未満 (≧70歳) (3) 除脂肪量指数 (FFMI) 低値15kg/m ² 未満 (女性) または 17kg/m ² 未満 (男性) | (2) BMI 20kg/m ² 未満 (<70歳) または 22kg/m ² 未満 (≧70歳) (3) 除脂肪量指数 (FFMI) 低値: 15kg/m ² 未満 (女性) または 17kg/m ² 未満 (男性) |
| 1 | 218頁・問題199 解説11行目 | ・振り返り徴候（重篤な記憶障害や見当識障害を取り繕い忘れてしまったことを憶えているかのように振る舞う態度）や取り繕い反応… | ・振り返り徴候（問診の際など、他者からの質問に対し近くにいる付き添い者のほうを振り向いて確認を求める行動）や取り繕い反応… |
| 1, 2 | 228頁・問題210 図1 | 「健康状態（変調または病気）」と「活動」の間の矢印が一方 | 「健康状態（変調または病気）」と「活動」の間の矢印が双方向 図1 国際生活機能分類 (ICF) モデル |
| 1 | 234頁・質問3 | 左下肢に筋緊張の亢進があり、平行棒内での歩行では内反尖足を認めます。屋内歩行の自立を目標に設定した場合、どのようなリハビリテーション治療を行いますか？ | 発症後2か月が経過。左手背に熱感と腫脹が出現し、疼痛を訴えています。肩手症候群であった場合、どのような対応を行いますか？ |